

図書館だより 5月号

丹原高校図書委員会

図書委員おすすめの本

今回は3年4組の図書委員によるおすすめ本です。

月とライカと吸血姫 牧野圭祐 著



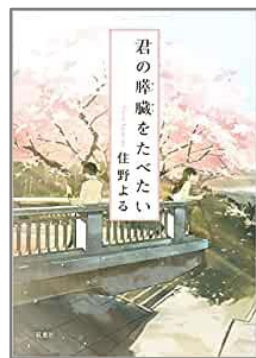
まだ有人宇宙飛行が成功していなかった時代。人間をロケットで宇宙に送り込む計画の裏で、実験飛行に人間の身代わりとして吸血鬼を使う「ノスフェラトゥ計画」が進行していた。

宇宙飛行士候補生のレフは、実験台に選ばれた吸血鬼の少女、イリナの監視係を命じられる。上層部のエゴや時代の波に翻弄されながらも、命懸けで遙か宇宙を目指すふたり。

宇宙に焦がれた青年と吸血鬼の少女が紡ぐ、宙と青春のコスモノーツグラフィティ。

今年アニメ化が決定している作品です！

君の臍臓を食べたい 住野よる 著



高校生の僕は病院で一冊の文庫本を拾う。それはクラスメイトである山内桜良が綴った秘密の日記帳であり、そこには、臍臓の病気により彼女の余命がもう幾ばくもないと書かれていた……。読後、きっとこのタイトルに涙するはず。「名前のない僕」「日常のない彼女」が織りなす、大ベストセラー青春小説。2017年、浜辺美波と北村匠海の主演で映画化もされています。



第67回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛／サントリーホールディングス株式会社

今年の高等学校の部の課題図書3冊です。近日購入予定！

水を縫う 寺地はるな 著

「男なのに」刺繍が好きな高1の清澄。「女なのに」かわいいものが苦手な水青。「愛情深い母親」になれないコンプレックスを抱える、母のさつ子。清澄が1歳の頃、離婚し家を出て「まっとうな父親」になれなかった全。そんな彼らひとりひとりが、一步步つ前へと踏み出していく。

「男なのに」「女らしく」といった言葉に立ち止まったことのある、すべての人に贈る、希望の物語。



兄の名は、ジェシカ ジョン・ボイ 著 原田勝 訳

サム自慢の兄、ジェイソンは、サッカー部のキャプテンで、学校ではみんなの人気者。ある日、自分はトランスジェンダーであり、男であることが耐えられない、と告白する。政治家の母やその秘書を務める父がうろたえる中、マスコミがジェイソンのことを取り上げてしまい……。

生物学的な性、社会的な性、そして本人が自覚する性の問題を、わかりやすく誠実に、時にコミカルに描く作品。

科学者になりたい君へ

佐藤勝彦 著

宇宙の果てだったり、生命の謎だったり、コンピュータだったり…サイエンスに関心を抱き、「どうすれば科学者になれるのか？」と思っている人はいませんか。そんなあなたに、日本の科学研究を牽引した著者が、科学者の研究生活や論文、ノーベル賞について、実例をあげながら案内してくれる本。科学を見る目が変わるかもしれません。

